

『植物工場の新展開』のご案内

SHITAシンポジウムは、日本生物環境工学会主催の植物工場に関する日本最大かつ最も歴史ある講演会です。

植物工場に関する最新の話題を入手することができ、シンポジウム後の懇親会では講師の先生と直接情報交換ができます。

どなたでも参加できます

開催日 2013年1月18日(金)
10:00~16:50(受付開始 9:15) 懇親会:17:15-19:00
会場 中央大学駿河台記念館 (東京都千代田区神田駿河台3-11-5)
主催 日本生物環境工学会

プログラム

- 10:00-10:05 学会長挨拶
野口 伸 氏(日本生物環境工学会会長・北海道大学教授)
- 10:05-10:45 「植物工場における食料生産およびマーケティング戦略
~異業種からの新規事業立ち上げの勘所と具体的事例~」
岡崎 聖一 氏(株式会社キーストーンテクノロジー 代表取締役社長・CEO)
- 10:45-11:25 「植物工場における薬用植物優良苗の育成と生産」
吉松 嘉代 氏(独立行政法人医薬基盤研究所 薬用植物資源研究センター
筑波研究部 育種生理研究室長)
- 11:25-12:05 「植物工場産植物での健康食品事業への展開」
辻 昭久 氏(日本アドバンスアグリ株式会社 代表取締役社長)
- 12:05-13:30 お昼休み
- 13:30-14:00 「植物工場に関する経済産業省の取り組みと今後の方向性」
下司 剛生 氏(経済産業省 地域経済産業グループ 地域経済産業政策課 課長補佐)
- 14:00-14:30 「植物工場の推進に対する農林水産省の取り組み」
堀川 昌昭 氏(農林水産省 園芸作物課 課長補佐)
- 14:30-15:10 「植物工場野菜認証システムの動向と展望~TPAC-PPS第三者認証~」
井上 健雄 氏(特定非営利活動法人 イー・ビー・イング 理事長)
- 15:10-15:30 休憩
- 15:30-16:10 「海外市場における植物工場の最新動向について」
藤本 真狩 氏(NPO法人イノプレックス 代表理事)
- 16:10-16:50 「東北から発信する植物工場」
阿部 恒夫 氏(V.プランニング 代表・㈱九州屋顧問)

懇親会
17:15-19:00 レストラン「プリオール」(中央大学駿河台記念館1F)

申込み方法は
裏面へ



お申し込み方法

● 今年から申込方法がWeb申込みに変更になりました。

● 当日までの手順は以下の通りです。

1. Web (<http://shita.jp/sympo/>) から申込み
2. 確認メールを受信
3. 期日までに参加費のお振込み
4. 当日受付でお名前をお申し出ください。

● 参加費

参加費種別	早期割引価格	通常価格
	2012年12月25日 までの振込	2012年12月26日 以降の振込
1. 日本生物環境工学会員	5,000	6,000
2. 協賛団体会員	8,000	9,000
3. 一般(非会員)	9,000	10,000
4. 今年度入会し参加(学会費を含む)	11,000	12,000
5. 学生	2,000	2,000
懇親会	5,000	6,000

注)「今回学会に入会し参加」とは

①参加費には、2011年分の学会費(6,000円)が含まれ、日本生物環境工学会員としてシンポジウムに参加できます。

②日本生物環境工学会の詳細は、<http://jsabees.agr.ehime-u.ac.jp/>でご覧いただけます。2012年分の学会誌(和文誌「植物環境工学」と英文誌“Environmental Control in Biology”各4冊)計8冊が送本されます。

● 参加費振込先

京都銀行 百万遍支店(146) 普通 口座番号:4087636

名義:日本生物環境工学会シンポジウム担当 清水 浩

ネット銀行からの振込時の名義(カタカナ表記)は「ニホンセイブツカンキョウコウガクカイ」です。

● お問い合わせ先

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学農学研究科 清水 浩

075-753-6163, hshimizu(at)kais.kyoto-u.ac.jp

アクセス



中央大学駿河台記念館

〒101-8324

東京都千代田区神田駿河台3-11-5

電話: 03-3292-3111

[交通案内]

JR中央・総武線

御茶ノ水駅下車、徒歩3分

東京メトロ丸ノ内線

御茶ノ水駅下車、徒歩6分

東京メトロ千代田線

新御茶ノ水駅下車(B1出口)、

徒歩3分

東京メトロ新宿線

小川町駅下車(B5出口)、

徒歩5分